

はな 咲 さき

国立病院機構旭川医療センターニュース「花咲」
平成29年9月号／第67号

～わたくしたちの理念～

わたくしたちは、安全で質の高い医療を提供し、
患者さんの目線に立ち、信頼される病院をめざします。
国立病院機構の病院として、
みなさんの健康と幸福をいつも願っています。



大雪山 高根ヶ原の紅葉 撮影：後藤健吾



地域医療支援病院に認定	2
市民公開講座 糖尿病健康セミナーが開催されました	3
外来管理診療棟等建替工事 進捗レポート	4
職場紹介(事務部 管理課・企画課)	5
ふくふく	6
がん相談支援センターより	6
各教室等のお知らせ	7

発行所／旭川医療センター

旭川市花咲町7丁目4048 番地

TEL (代)0166-51-3161

発行責任者／平野 史倫

ホームページ／www.asahikawa-mc.jp

(広報室より)

広報誌「花咲」は、幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。ご意見ご感想などございましたら、下記メールアドレスまでお願いいたします。

旭川医療センター広報室

E-mail renkei@asahikawa.hosp.go.jp

地域医療支援病院に認定

院長 西村 英夫



本年8月の北海道における会議にて、当院が地域医療支援病院として認められました。旭川地区では旭川日赤に続いて2件目、北海道内では13件目の病院として指定されました。地域医療支援病院とは、その地域のなかで、地域の中核病院として地域の診療所・クリニック等では対応の困難な専門的な治療や高度な検査、手術等を行い「地域完結型医療」の中心的役割を担うと定められています。現在地域医療支援病院は北海道内に12か所あります。

- 1) 旭川地区 旭川赤十字病院
- 2) 札幌地区 独立行政法人地域医療機能推進機構札幌北辰病院 KKR 札幌医療センター
独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 KKR 札幌医療センター斗南病院
手稲溪仁会病院 市立札幌病院 独立行政法人国立病院機構北海道医療センター
- 3) 函館地区 函館市医師会病院
- 4) 北見地区 北見赤十字病院
- 5) 釧路地区 独立行政法人労働者健康福祉機構釧路労災病院
- 6) 帯広地区 北斗病院

いずれもそうそうたる病院ですが、当院もこれからの外来管理診療棟の完成と共に医療水準を上げて他に負けないように頑張っていきたいものと考えています。

さて、実際の地域医療支援病院指定の条件は 新患患者さんの紹介率 65%以上（当院 65.1%）他医療機関への逆紹介率 40%以上（当院 67%）救急搬送数約 800 台以上 / 年間（当院 794 台）などです。更には自前の患者搬送用の車両が必要で購入致しました。また、開放病床^(注)の設置も義務づけられ、現在も行っておりますが開業の先生と一緒に患者さんを診る体制を作っています。医療機器の共同使用は現在も整形外科などを中心に行われていますが、さらに増やしたいと考えています。医療機関対象の研修会の開催はすでに院内、院外で行っていますが、さらに充実させます。「連携登録医」への登録もお願いし、これはすでに旭川市内外で 130 件を超えています。この指定を取ることは当院としては、急性期病院としてこれからもこの地域で数十年やっていくために、病棟、外来棟の新築と共に必要不可欠なものと考えています。今回の申請に至るまでには医師会、歯科医師会、薬剤師会などの御理解もいただき、近隣医療機関、町内会からの御理解もあり、どうにか到達することができました。また、もちろん院内のスタッフの努力の賜物でもあります。その名に恥じないように、これからも頑張っ病院を運営していきたいと考えています。

■開放病床とは？

○連携登録医の皆様は病院の施設・機能を開放し、当院の医師と共同で診療を行うことができる病床です。これにより、患者さまは外来通院・入院治療・退院後のフォローを含め、一貫した治療を受けることができます。

「医療機関の方へ」 地域医療連携室

今回の申請に際し医療連携を積極的に進めるために、「連携登録医」への登録をお願いしております。登録いただければ登録医証をお送りするとともに、正面入口に掲示させていただいており、広報誌や研修の案内等もお送りします。また、CT・MRI・骨密度測定の利用、開放病床を利用した共同診療も可能です。希望される医療機関の方にはご案内を送付いたしますので地域医療連携室までご連絡ください。

「地域医療支援病院とは」

承認要件

- ・ 紹介患者中心の医療を提供していること。次のいずれか一つを満す（紹介率 80%・紹介率 65% 逆紹介率 40%・紹介率 50% 逆紹介率 70%）
- ・ 救急医療を提供する能力を有すること。救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数が上川中部二次医療圏人口の 0.2%（約 800 台）
- ・ 建物、設備、機器等を地域の医師等が利用できる体制を確保していること

- ・ 地域医療従事者に対する研修を行っていること
- ・ 200 床以上の病床、及び地域医療支援病院としてふさわしい施設を有すること

役割

- ・ 紹介患者に対する医療の提供（かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む）
- ・ 医療機器の共同利用の実施
- ・ 救急医療の提供
- ・ 地域の医療従事者に対する研修の実施

市民公開講座 糖尿病健康セミナーが開催されました

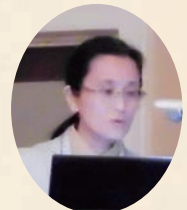
栄養管理室長

芝木 美香

毎年恒例の「市民公開講座 糖尿病健康セミナー」が、今年も 8 月 19 日（土）アートホテル旭川にて開催されました。当日は来場者多数で、盛況のうちに終わることができました。ご参加いただいた皆様にお礼を申し上げます。

セミナーは 2 部構成で、第 1 部は会場に設けられた無料体験コーナーにて、低カロリーデザート試食、フットケア相談、インスリン注射模擬体験、自己血糖測定体験、血圧測定体験、運動療法相談、栄養相談が行われました。第 2 部は講演会で、1 題目は糖尿病認定看護師・日本糖尿病療養指導士 滝沢副看護師長から「糖尿病になったら気を付けること」について講演がありました。2 題目は日本糖尿病療養指導士・管理栄養士の私から「やせるための食事療法って？」の講演をさせていただきました。体重は、摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスに影響を受け、消費エネルギーに比べ摂取エネルギーが多くなると体重は増加します。肥満の状態を解消し適正体重を保つためには、食べ過ぎない、偏らない（食品の種類や量をバランスよく摂る）、規則正しい食事をする、間食やアルコールは管理栄養士や医師に相談してルールを守る、これらの点に気をつけて食事をとることが重要であることをお話しました。3 題目は糖尿病リウマチセンター長の平野医師から「糖尿病ってどんな病気？」の講演がありました。参加の皆さんは、各コーナーで体験や試食、相談をされ、スタッフの説明や講演会を熱心にお聞きになられていました。病気の知識や日常の体調管理、お薬や運動、食事に対する関心が高いことを実感いたしました。

糖尿病リウマチセンターでは今回のセミナーのほかにも、糖尿病教室（月 2 回、院内）や市民公開講座リウマチ健康セミナー（年 1 回）を開催して、疾患にまつわる情報を皆さまに提供する活動を行っています。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



筆者



滝沢看護師



平野医師



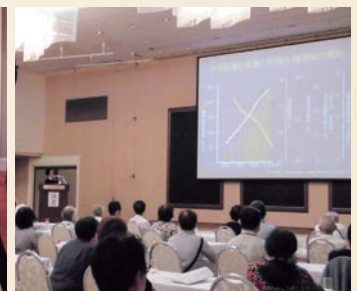
フットケア



体験・相談コーナーの様子



低カロリーデザート試食



講演会

外来管理診療棟等建替工事 進捗レポート

経営企画係長 森川 直彦

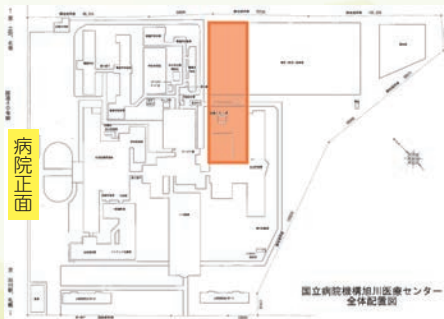
本体部分の工事が開始され、早5ヶ月が経過しました。

9月現在、基礎鉄筋の組み立てとコンクリートの打設が行われており、完成に向けて着々と進んでおります。現在の工事部分は、放射線、栄養、検査といったコメディカル部分やボイラー等のサービス部門になる予定です。(図面オレンジ色部分とあわせてご覧ください) 工事は全体で3期まであり、現在1期工事の段階です。※写真は9月現在の様子です。

工事スケジュール

H29					H30					H31	
4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2...
基礎躯体・鉄筋工事					第2期工事						
			↑	内装仕上工事							
				既存建物解体工事							

工事部分
(オレンジ色)



職場紹介



事務部管理課

庶務班長 樋口 善秀

事務部は、企画課（経営企画室）・管理課の2部門で構成されており、病院の基本理念である、「わたしたちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さんの目線に立ち、信頼される病院をめざします。」の実現を目指して、診療部、看護部、コ・メディカル部門等とともに地域から信頼される病院となるよう日々業務に励んでいます。

ひとくくりで管理課と言っても、事務、ボイラー・電気、洗濯、庁内保清など複数の部署に分かれています。主な仕事は、職員の支援、給与、健康管理、福利厚生、研修など職員が本来の業務に専念できるようサポートを行います。また、施設・防災管理、医局支援、院内スケジュール管理、各種届出・申請のほか、外部機関との連絡調整など病院の対外的な窓口となります。この非常に広い範囲の業務を総勢14名で行っています。

事務部門は質の高い医療を提供する医療スタッフをサポートし、健全経営を支える「縁の下の力持ち」として病院運営に貢献できるよう努めています。

平成31年秋の外来診療棟オープンまでは、当院利用の皆様、近隣の皆様にご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。今後も病院理念の実現に向けて、地域の皆様や医療スタッフを支えていく事務部門でありたいと思っています。



事務部企画課

業務班長 佐々木 顕

企画課は、お金の出入りから建物設備の管理、経営の企画立案まで広く病院運営に携わっています。

組織としては、業務班、経営企画室、医事部門（診療情報管理室を含む）の3つの部門で構成されています。業務班は、病院建物や冷暖房設備などの整備から数億円的大型医療機器の購入、各種機器の維持管理、医薬品など医療材料の調達のほか、診療収入など現金出納の管理を行っています。経営企画室は、その名のとおり病院を運営して行くための企画立案、経営改善など広範囲な業務に携わっています。例えば、本年8月に承認された「地域医療支援病院」の申請に関わり、地域医療連携室とともに院内の調整や、近隣医療機関等との連携、道庁や保健所による審査対応など、様々な業務を中心的に行いました。医事部門では、病院の顔である受付窓口、外来・入院診療費の算定・料金の収納、カルテ管理、患者動態や病歴、DPC等に係る各種統計処理等など患者さんに関わる業務を行っています。

このように、企画課は主に経理の面から病院運営に携わる部門ですが、健全な病院運営を維持することが、患者さんに信頼される病院であると考えています。引き続き、事務部門へのご協力をよろしくお願いいたします。



ふくふく

認定看護師について

5病棟 副看護師長 滝沢 亜由美

当院に認定看護師がいるのをご存じですか？認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識をもちいて水準の高い看護を実践できる看護師で、1999年から認定制度が開始されています。現在21分野の認定看護師が特定されており、当院ではそのうちの5分野、計6名の認定看護師が日々頑張っています。

その6名の認定看護師ですが、感染管理認定看護師2名は院内で感染が起きないように、がん性疼痛看護認定看護師1名はがんによる痛みをコントロールができるように、がん化学療法看護認定看護師1名は化学療法を安全安楽に継続できるように、慢性呼吸疾患看護認定看護師1名は呼吸器疾患を持つ患者さんの療養指導と呼吸ケアに、糖尿病看護認定看護師1名は糖尿病患者さんに対する療養指導とフットケアに、それぞれ取り組んでいます。専門性の高い看護師に相談などありましたら一緒に解決方法を考えていきたいと思えます。御相談がありましたらお近くの看護師にお声がけください。

感染管理認定
看護師 木元

感染管理認定
看護師 内山

がん性疼痛看護
認定看護師 大坪

がん化学療法看護
認定看護師 渡辺

慢性呼吸疾患看護
認定看護師 前川

糖尿病看護
認定看護師 滝沢



がん相談支援センターより

栄養補助食品について

がん性疼痛看護認定看護師 大坪 聡織

食欲の秋となりましたが、がん患者さんにとっては食べることが辛い時期があります。化学療法や放射線治療などの影響で食欲が落ち「このままでは体力も落ちて治療に向き合っていけないかもしれない」という不安も生じることがあるかと思えます。そこで9月22日のがん患者・家族サロンでは「お食事がすすまないときは～栄養補助食品ってどんなもの?～」というテーマで、当院の五十嵐管理栄養士からミニ講座を行っていただきました。栄養補助食品にはどのようなものがあるのか、栄養補助食品を使ったレシピの紹介などのあとに、実際に試食を行ってみました。今の栄養補助食品は種類も豊富でジュースのように手軽に飲めるものから、ゼリーやムースのようなタイプや半固形タイプのものなど、味もいろいろ選ぶことができます。また、栄養面でもカロリーを重視するのか、たんぱく質や微量元素を重視するのか、ビタミンを重視するのかなど、選ぶのにも一苦労してしまうぐらい種類が豊富でした。参加者の方たちはまるでバイキングにでも来たかのように、「これは食べやすい」「後味がちょっと…」などと楽しみながら試食をされていました。

食べるということはとても大切なことですが、一歩間違えると「押しつけ」になることもあります。

こういった栄養補助食品を上手に利用して、食べられない時期をなんとか乗り切れるように私たちもサポートさせていただきたいと思えます。



平成29年10月～ 各教室等のお知らせ

日付	曜日	行事	場所	時間	内 容	対象者	その他 お知らせ
10月16日	月	糖尿病教室	2 F 大研修室	15:00～16:00	いつ飲むの??○○でしょ!～糖尿病薬の正しい飲み方～: 金岡 薬剤師 / 糖尿病食品交換表について～応用編～: 管理栄養士	糖尿病治療で入院中、外来受診中の患者さん(ご家族も一緒に参加できます)	申し込みが必要です、主治医、看護師にお伝え下さい。集団食事指導料が必要になります。
10月23日	月				糖尿病の合併症について: 柏谷 医師 / 糖尿病と外食、間食について: 管理栄養士		
11月13日	月				冬の運動と注意点: 高橋 理学療法士 / 糖尿病と塩分について: 管理栄養士		
11月27日	月				低血糖をおこしていませんか?～低血糖の対処法～: 滝沢 看護師 / 糖尿病食とコレステロール、食物繊維について: 管理栄養士		
10月17日	火	COPD (慢性閉塞性肺疾患) 教室	6 病棟 カンファレンス室	14:00～14:30	吸入薬の効果と吸入指導について: 河田 薬剤師	参加自由	
11月21日	火				吸って!吐いて!呼吸機能検査でわかること: 村中 検査技師		
1月16日	火				COPDのお食事について: 新野 管理栄養士		
2月20日	火				COPDの患者さんが利用できる社会福祉制度: 菅原 医療ソーシャルワーカー		
3月20日	火				慢性の病気と上手におつきあいCOPDとともに生きる: 前川 慢性呼吸器疾患看護認定看護師		
10月20日	金	パーキンソン病教室	2 F 大研修室	15:00～16:30	バランスの良い食事: 油川 医師・管理栄養士	患者さん・ご家族・支援者	パーキンソン病の特徴や付き合い方を各専門家が分かりやすくご説明します。各専門家からの講義、音楽に合わせて体操や発音などを行う音楽療法や、患者さん同士が気軽に話をする交流会も企画しています。予約は不要ですので、お気軽にご参加下さい。
11月17日	金				嚥下について: 吉田 医師・言語聴覚療法士		
12月15日	金				薬の服用法: 木村センター長・奥野 薬剤師		
1月19日	金				福祉制度について: 鈴木副センター長・長尾医療ソーシャルワーカー		
2月16日	金				病気との付き合い方: 黒田 医師・久松 看護師		
3月16日	金				栄養と食事の工夫: 油川医師・管理栄養士		
10月27日	金	がん患者・家族サロン えんがわ「縁佳話」	1F 地域医療連携室の隣	13:30～15:00	座ってできるがんリハビリテーション: 神谷 言語聴覚士 13:30～14:00	がん患者さん・ご家族・支援者	ミニ講座は 13:30～30分です。途中での入退室も自由です。お気軽にお越しください。飲食も可能です。お茶をご用意してお待ちしております。参加は無料、事前申し込みは不要です。
11月10日	金				開放日		
11月24日	金				音楽療法♪: 内島 音楽療法士 (看護師) 13:30～14:00		
12月8日	金				開放日		
12月22日	金				大事な面談で聞きたいことを聞くために: 大坪 がん診療支援センター看護師 13:30～14:00		
1月12日	金				開放日		
1月26日	金				肺がんの遺伝子変異の治療について: 藤田 内科部長 13:30～14:00		
2月9日	金				開放日		
2月23日	金				音楽療法♪: 内島 音楽療法士 (看護師) 13:30～14:00		

外来担当医表

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで 〔 再来受付機は午前8時。
※当院の再来受付は予約制（小児科を除く）となっています。 〕

※この予定表は都合により変更となる場合がございますので、ご了承願います。 平成 29 年 9 月 1 日現在

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	診察室⑤	高橋 政明	黒田 光	山崎 泰宏	鈴木 北斗	山崎 泰宏
	診察室⑥	藤田 結花	堂下 和志	黒田 光	藤田 結花	高橋 政明
	診察室⑦	堂下 和志	辻 忠克	藤兼 俊明	藤兼 俊明	辻 忠克
	疾患センター外来 COPD (慢性閉塞性肺疾患)		副センター長 黒田 光 診察室⑤	センター長 山崎 泰宏 診察室⑤		
	午後診療 13:00～14:00 (予約診療のみ)		(新患) 禁煙外来 (予約制)			
脳神経内科	診察室③	(再来) 黒田 健司	(新患) 鈴木 康博	(新患) 新患担当医	(新患) 黒田 健司	(再来) 鈴木 康博
	診察室④	(新患) 木村 隆	(再来) 木村 隆	(新患) 油川 陽子	(再来) 木村 隆	(新患) 吉田 亘佑
	診察室⑫		(再来) 油川 陽子		(再来) 吉田 亘佑	
	診察室⑨	物忘れ外来 (予約制)				
	午後診療 (予約診療のみ)		(再来) 野村 健太 診察室③		(再来) 岸 秀昭 診察室③	(再来) 黒田 健司 診察室③ (再来) 坂下 建人
	疾患センター外来 パーキンソン病	センター長 木村 隆 診察室④				
消化器内科	診察室①	(再来) 斉藤 裕樹	(再来) 高添 愛	糖尿病(新患・再来) 柏谷 朋	(新患・再来) 斉藤 裕樹	(新患・再来) 高添 愛
	診察室②	リウマチ(新患・再来) 平野 史倫	リウマチ(新・再) 平野 史倫	(再来) 西村 英夫	糖尿病(再来) 柏谷 朋	(再来) 西村 英夫
	診察室⑫	(新患・再来) 横浜 史郎				リウマチ(再来) 平野 史倫
	特殊外来	(甲状腺) 平野 史倫 診察室②		(リウマチ・骨粗鬆症) 平野 史倫 診察室⑨		
	疾患センター外来 糖尿病・リウマチ	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室②	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室②	副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室①	副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室②	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑫
循環器内科	診察室⑧	石田 紀子	藤井 聡	石田 紀子	石田 紀子	出張医
総合内科 受付13:30～15:00 紹介ありの場合 16:00まで	午前診療			(再来) 安尾 和裕 診察室⑫	(新患・再来) 横浜 史郎 診察室⑨	(新患・再来) 安尾 和裕 診察室⑨
	午後診療 診察室⑤	(新患・再来) 安尾 和裕	(新患・再来) 安尾 和裕	(新患・再来) 辻 忠克	(新患・再来) 安尾 和裕	

※月曜日の物忘れ外来は予約診療となり、脳神経内科の医師が輪番で行います。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科 一般外来	午前	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②	診療援助 診察室①
	午後	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②		診療援助 診察室②	

※小児科一般外来午後の受付時間は、午後1時30分から午後4時となっております。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科 発達神経外来	午前		長 和彦 診察室①		長 和彦 診察室①	
	午後		長 和彦 診察室①	長 和彦 診察室①	長 和彦 診察室①	

※小児科発達神経外来は初診・再診とも完全予約制となっております。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
外科	診察室①	渡邊 一教	永瀬 厚 (完全予約制)			本望 聡
	診察室②	青木 裕之				前田 敦
	透析	透析		透析		透析

※外科は火、水、木曜日は手術日です。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
放射線科(治療)	放射線科診察室		宮野 卓		宮野 卓	

予約変更、問い合わせについて

予約変更、予約内容の問い合わせは午後2時～午後4時30分の間をお願いします。

☎ 0166-51-3161